

長束支部だより

平成から令和へと元号が変わりました2019年。どんな1年でしたか？

現代は報道の自由か、あらゆる面の情報が氾濫し過ぎではないでしょうか！

物事を判断し、納得の行く間もなく押し流されているように思えます・・・。

師走をむかえ、何かとあわただしい時期を迎えました。

空気が乾燥していますので、お身体にも、また火の元にも充分気をつけましょう。

みなさまには来る(子年)年が、よりよいお歳でありますよう、お祈り申し上げます。

2019年【くらしの学校】に31名の参加でした。有難うございました。

(ユーカリの木・元気に生きています!!)

1講座 11/14 *デイサービス“ひまわり”より おはなし

感想/デイサービスの体制と、料金のしくみがよく判って良かった。

*《香りの力(ちから)でセルフケア》～アロマを安全に楽しみましょう～

感想/人の手の温もりを感じ、気分がリラックスして身体もあったまった！

2講座(11/21) *《被爆樹木に会いに行こう》～広島城と縮景園～・感想・

11月21日(木)「くらしの学校」長束教室講座【被爆樹木に会いに行こう】に参加。

快晴の寒い朝になりましたが9時40分にRCC前に13名集合。ヒロシマピース



(クロガネモチ・紅い実がいっぱい)

ボランティアの岡本さん・福島さんの案内で、広島城内と縮景園の被爆樹をめぐりました。広島城には二の丸付近にユーカリとマルバヤナギ、大本営跡にクロガネモチがあり、樹木にかかっている名札に「被爆樹木」と表示されています。

広島城築城以来の歴史をまじえながら、空襲・警戒警報を管理した防空作戦室では動員されて高等女学校生徒・教員67名が犠牲となったなど資料とともに説明。

縮景園では身分証明を提示して入園(64歳以上は入園免除)、まず小高い丘に建つ慰霊碑前では被爆当時の様子を聴く。空襲時の避難場所になっていた縮景園では多くの被災者が非難したが、ほとんど治療を受けることもできないまま息絶え園内に埋葬。

その後、64体の遺骨がみつかり、慰霊碑が建立され毎年慰霊式は開かれている。

京橋川にせり出したムクノキは葉も枝も少なく、「痛々しいね」の声。

大きなクロマツとイチョウは傾斜していて、被害を受けた側の幹の成長が阻害されるため被爆樹の多くは爆心に向かって傾いていくとの説明。

イチョウの葉が黄色く色づいて紅いモミジも見頃となった園内で感想文を書いて約2時間の散策を終えました。

「次回は展示が新しくなった資料館にも行きたいね」の声も複数ありました。

(2019/12/1 運営委員 田中幹雄・記)



(イチョウ・きれいでした!)

～お知らせ～

【早期発見、早期治療】

「大腸がん検診を受けましょう」

*広島市在住の方

70才以上は無料・40才以上400円

*広島市発行の受診券と問診表・便/2日分

*冬期の限定で「12/1～2/28」までは検体を検診課に郵送できます。

*容器は西村委員または健康まちづくりセンターまでご連絡いただけるとお届けします。

12・1月の予定

1(日)かすみ草班

2(月)1/6(月)なでしこ班

11(水)1/8(水)ハイビスカス班

18(水)1/22(水)パソコン班

19(木)機関紙区分け及び

運営委員会

20(金)1/17(金)ふれあい会食

〃すみれ班

21(土)1/25(土)青空班

(12月のどれみコーラス班はお休み)

1/19(木)どれみコーラス班

長束支部は今年で8年目の「くらしの学校」を連続で開講。郊外に出る学習はこの度が初めてでした。組合員さんが参加できる企画がありましたら、どしどし情報を下記の委員までお寄せください。お待ちしております。運営委員一同



(クロマツ・白い花が目印)